

肉眼解剖(頸部・胸部)の学習目標(ポイント)

1. 頸部

- 1) 体表から頸部を区分して位置を説明できる。
- 2) 下顎骨、下顎角、乳様突起、甲状軟骨、鎖骨、頸切痕、肩峰を触知し説明できる。
- 3) 頸部の皮静脈(前頸静脈と外頸静脈)の位置と走行を説明できる。
- 4) 頸部の皮神経(頸神経叢の皮枝)をあげ走行と支配領域を説明できる。
(神経点について説明できる。)
- 5) 外側頸三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 6) 頸動脈三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 7) 顎下三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 8) オトガイ下三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 9) 筋三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 10) 肩甲鎖骨三角の構成と位置および内部構造を説明できる。
- 11) 大鎖骨上窩、小鎖骨上窩を説明できる。
- 12) 頸部の三角部(外側頸三角、頸動脈三角、顎下三角、オトガイ下三角、筋三角、肩甲鎖骨三角)を体表からも理解し説明できる。
- 13) 頸神経叢筋枝(頸神経ワナ、横隔神経)の走行と支配(舌骨下筋群、横隔膜)を説明できる。
- 14) 総頸動脈、内頸動脈、外頸動脈、内頸静脈、外頸静脈の位置と走行および分布領域を説明できる。
- 15) 迷走神経、交感神経幹、横隔神経、副神経の位置、走行、神経機能を説明できる。
- 16) 頸動脈小体の形態と機能(化学感受器)を説明できる。
- 17) 甲状腺と上皮小体の形態(位置、構造、血管分布)および機能(内分泌)が説明できる。
- 18) 咽頭(鼻部、口部、喉頭部)と食道(生理的狭窄部)の構造を理解し嚥下との関係も説明できる。
- 19) 喉頭(軟骨、筋、ヒダ)と気管の構造を理解し呼吸、発声との関連を説明できる。
- 20) 椎前筋と椎前隙(咽頭後隙)の位置を理解し炎症の波及路となることを説明できる。
- 21) 斜角筋(前、中、後)と斜角筋隙(腕神経叢の根部)の構造を理解して説明できる。
- 22) 胸壁の筋(附着・神経支配・働き)を説明できる。
 - 1 胸部の上肢筋=浅胸筋(大胸筋・小胸筋・鎖骨下筋・前鋸筋)
 - 2 固有胸筋=深胸筋(外肋間筋・内肋間筋・最内肋間筋・肋下筋・胸横筋)

2. 胸腔と胸腔内臓

- 1) 胸腔と胸膜腔を説明できる。
 - 1 胸内筋膜と壁側胸膜(肋骨胸膜・横隔胸膜・縦隔胸膜)を説明できる。
 - 2 胸膜と胸膜の折れ返りを説明できる。
 - 3 胸膜洞(肋骨横隔洞・縦隔横隔洞)と胸膜頂を説明できる。
 - 4 肺間膜と臓側胸膜を説明できる。
- 2) 縦隔と縦隔臓器の概略が説明できる。

- 1 上部縦隔とこの部に認められる構造物と位置関係を説明できる。
 - 2 前部縦隔とこの部に認められる構造物と位置関係を説明できる。
 - 3 中部縦隔とこの部に認められる構造物と位置関係を説明できる。
 - 4 後部縦隔とこの部に認められる構造物と位置関係を説明できる。
- 3) 胸郭・前胸壁に投影した胸部臓器像と胸腔での位置を説明できる。
- 1 肺と肺葉(葉裂)
 - 2 胸腺
 - 3 大血管(上大静脈・奇静脈・左右の腕頭静脈・上行大動脈・大動脈弓とその分枝・胸大動脈とその分枝)
 - 4 心臓(右心房・右心室・左心房・左心耳・左心室)
 - 5 気管と気管分岐部(左右の気管支の分岐角度と太さ)
 - 6 食道(縦隔上部で気管との位置関係、縦隔後部で胸大動脈との位置関係、生理学的狭窄部位)
 - 7 横隔神経(縦隔の走行中、肺門との位置関係)
 - 8 迷走神経の走行形態(食道との関係)と反回神経を出す位置、反回する構造物とその発生的機序を説明できる。
 - 9 胸管の走行部位を説明できる。
 - 10 奇静脈系が説明できる
 - 11 交感神経幹と大・小内臓神経
 - 12 横隔膜の高さを呼吸と関連させて理解する
 - 13 横隔膜を貫通する構造物を縦隔と関連させて説明できる
- 4) 肺(消化管か `陥凹して出来た実質性器官)の発生と構造を説明できる
- (1) 肺の外景
 - 1 左右の肺の肋骨面、縦隔面、横隔面、肺底、肺尖、肺門が説明できる
 - 2 右肺は上葉、中葉、下葉、左肺は上葉と下葉であることを説明できる
 - 3 肺の葉裂(右は水平裂と斜裂・左は斜裂)と肋骨との位置関係を説明できる
 - 4 縦隔面(心圧痕・大血管の圧痕・左右の肺門と肺根・肺間膜)を説明できる
 - 5 左右の肺門を通過する気管支、肺動脈、肺静脈、気管支動・静脈の位置と左右での相違を説明できる
 - 6 肺門リンパ節群(所属リンパ節)の位置を知る
 - 7 肺根部と横隔神経の走行位置関係を理解している
 - (2) 肺の内景
肺葉と気管支(葉気管支・区域気管支を剖出)の関係を理解し肺区域と区域気管支が説明できる。また、さらに細かな分岐(細気管支、呼吸気管支、肺胞管、肺胞)の組織学的構造とも連動して理解出来る。
- 5) 心膜と心膜腔

- 1 心膜が縦隔のどこに位置しているか説明できる
- 2 心膜の構成と心膜腔の広がり、心膜のおれ返りが心臓の発生を加味して説明できる。
- 3 心膜横洞、心膜斜洞が説明できる。

6) 心臓

(1) 心臓の外景を説明できる

- 1 心底、胸肋面、横隔面、肺面、心尖、心尖切痕、前室間溝、後室間溝、冠状溝、右心房、右心耳、右心室、左心房、左心耳、左心室を説明できる。
- 2 心臓に出入りする大血管を説明できる。
- 3 心臓の栄養血管系(冠状動脈と心臓の静脈系)を説明できる。
- 4 心臓に分布する神経系を説明できる。
- 5 心筋の筋束と走行を説明できる。

(2) 心臓の内景を説明できる。

- 1 心房と心室を連結する構造を説明できる。
- 2 心房の内景を説明できる。
心耳、分界稜、櫛状筋、心房中隔、卵円窩、下大静脈弁
- 3 下記の心室の内景を説明できる。
左右の房室口、右房室弁(三尖弁)、左房室弁(僧帽弁)、肺動脈弁、大動脈弁、
乳頭筋(左心室で前・後乳頭筋、右心室で前・後乳頭筋と中隔乳頭筋)と腱索ならび
に各尖弁との関係、心室中隔膜性部
- 4 心臓の各弁がの閉鎖不全、機能不全が生じた場合の血流の変化について、解剖学的見地から説明できる。
- 5 心臓の刺激伝導系を説明できる。
- 6 心臓骨格を説明し、心筋と線維輪の関係を説明できる。